

3-24 2008年7月19日の福島県沖の地震 (M6.9) に伴う地殻変動について
Crustal deformations associated with the Earthquake off Fukushima
Prefecture (M6.9) on July 19, 2008

海上保安庁
Japan Coast Guard

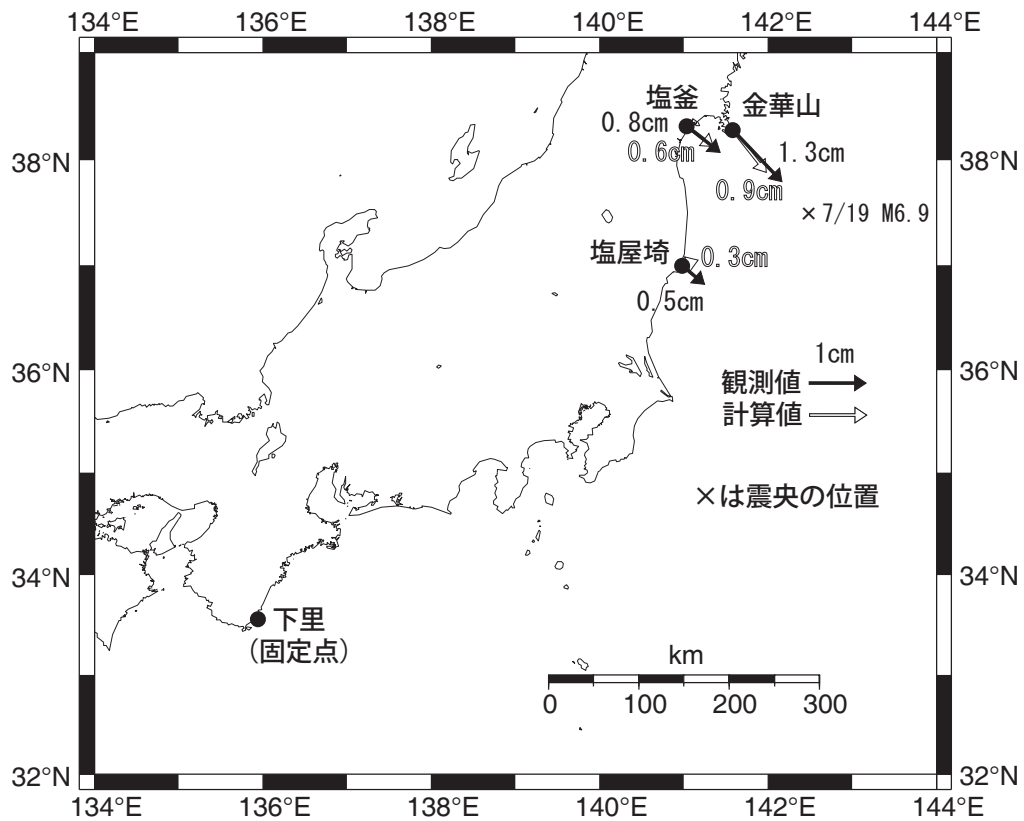
2008年7月19日に福島県沖で発生した地震に伴う地殻変動が、海上保安庁の塩釜、金華山、塩屋崎の各GPS局で検出された。地殻変動の大きさと方向は以下のとおり（第1図参照）。

塩釜：南東に約0.8cm
金華山：南東に約1.3cm
塩屋崎：南東に約0.5cm

ここで、図中の黒矢印は、2008年7月9日～7月18日を基準期間、7月20日～7月29日を比較期間とし、各期間の基線長の平均値の差から求めた観測値、白抜き矢印は国土地理院の震源断層モデルによる計算値である。計算には以下の断層パラメータを使用した。

北緯	東経	上端深さ	長さ	幅	走向	傾斜角	すべり角	すべり量
37.56°	142.42°	27.8km	19.9km	29.9km	210.1°	15.2°	94.9°	1.08m

解析には精密基線解析ソフトウェア Bernese Ver4.2 を使用し、精密暦 (IGS 暦)・24 時間データを用いた。



第1図 2008年7月19日の福島県沖の地震 (M6.9) に伴う地殻変動 (塩釜, 金華山及び塩屋崎)

Fig.1 Co-seismic crustal deformations of the GPS stations (Shiogama, Kinkasan and Shioya-saki) due to the Earthquake off Fukushima Prefecture (M6.9) on July 19, 2008.

Solid arrows show the vectors of observed crustal deformations, and open arrows show the vectors of crustal deformations calculated from the fault model by GSI.